

2025年3月期（第98期）

株主等との対話について

2025年5月15日

株式会社 河合楽器製作所

①株主等との対話の状況（2024年4月～2025年3月）

当社は、コーポレート・ガバナンス基本方針において「株主との建設的な対話に関する方針」を掲げており、株主総会のほか、決算説明会、中期経営計画説明会、個別IRミーティングなどを通じて、建設的な対話を実施しております。

内容	回数	対応者		対象
		社長	IR担当	
決算説明会 (2024年5月・11月開催)	2回	○	○	証券アナリスト、機関投資家 (国内・海外)、その他
中期経営計画説明会 (2025年3月開催)	1回	○	○	証券アナリスト、機関投資家 (国内・海外)、その他
個別IRミーティング	61回	○ ※1	○	証券アナリスト、機関投資家 (国内・海外)、その他

※1 計8回出席

②個別IRミーティングの内訳（実施回数）

- ✓ 当期は合計61回実施
- ✓ 国内、海外の機関投資家からの取材減少など、合計12件の減少

＜減少要因＞

年2回開催の決算説明会について、2024年5月開催分から会場開催とオンライン併用のハイブリッド形式としたことで、オンライン参加を含めた来場者数が増加、中期経営計画説明会もハイブリッド開催し多くの来場者数があった一方、個別取材は減少した

（決算/中期経営計画説明会来場者数 前期平均20名 当期平均40名 前年比+20名）

	国内			海外		合計
	証券アナリスト	機関投資家	その他	証券アナリスト	機関投資家	
当期 (2024年4月～ 2025年3月)	16	24	5	1	15	61
前期 (2023年4月～ 2024年3月)	16	33	4	1	19	73
比較	±0	△9	+1	±0	△4	△12

③対話の主なテーマ、株主・投資家からのご意見

テーマ	ご意見
IR活動について	<ul style="list-style-type: none"> 過去と比較して進化しており効果が出ている 英文決算資料の日本語との同時開示を実施してほしい 楽器業界は今、市場から不安視されているので、確実な計画をしっかりと実行してほしい
株主との対話について	<ul style="list-style-type: none"> 株主からの意見を掲載している点はユニークで建設的
第8次中期経営計画について	<ul style="list-style-type: none"> 3年目のROE5.5%という目標は低くROE8%を達成しないと株価向上、PBR1倍超えにつながらないのでは
株主還元の強化について	<ul style="list-style-type: none"> 2024年3月期決算説明会資料には2028年3月期に総還元性向50%を目指す」と記載があるが、2028年では遅い 「DOE4%」の目標を設定してほしい
資本コストと株価を意識した経営について	<ul style="list-style-type: none"> 資本コストを下げる施策がIR活動であり配当方針であるという繋がりが見えない。IR/配当と結び付けて資本コストを下げる努力を表現することで投資家は安心する
買収防衛策について	<ul style="list-style-type: none"> 買収防衛策があることで機関投資家は投資しなくなるので株主にはメリットが無い

対話内容の社内フィードバック状況

- ✓ 株主、投資家からのご意見はIR担当者からIR担当役員である河合社長に、定例ミーティング等で随時報告しています。
- ✓ 対話の状況については、取締役会において定期的にIR担当者から報告、情報共有しています。

④対話の主な成果

テーマ	実施した内容
第8次中期経営計画「KAWAI 十年の計」について	<ul style="list-style-type: none"> 株主からの意見を参考に「PBR向上の観点」、「資本効率改善（ROEの向上）」、「財務戦略（キャピタルアロケーション）」を織り込んだ内容で策定し、3月19日に公表した
株主還元の強化について	<ul style="list-style-type: none"> 2025年3月期の配当について、前期と同じ1株当たり95円を維持 第8次中期計画の中で、今後も累進配当を継続し、総還元性向50%以上を毎期継続する方針を公表した
買収防衛策について	<ul style="list-style-type: none"> 2025年6月25日開催の定時株主総会で有効期限が到来する現行の買収防衛策について、継続せずに廃止することとし、3月19日に公表した
英文資料の開示について	<ul style="list-style-type: none"> 第8次中期経営計画の英語版を日本語版と同日に開示した 2025年3月期決算説明会について、日本語版と英語版の資料を同時に開示する予定

今後も株主・投資家等と建設的な対話を継続し、具体的な経営戦略や経営計画について理解を得るとともに、いただいたご意見に対して適切な対応を講じ、企業価値の向上に取り組んでまいります。